

# 大分大学「地域創生教育科目」構想について

(平成29年度現在の構想☆平成31年度までに修正して構築)

大分大学「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」については、申請時点での計画では、教養教育における「大分を創る人材を育成する科目」により地域創生人材を育成するという計画でしたが、本学の重要なミッションの一つとして掲げている地域に貢献する大学としての位置づけをふまえて、その取組について、教養教育を含む全学の教育活動としての組織化を構想することが必要と考えます。

については以下の観点から、大学教育全体としての地域貢献に資する取組を推進するための体制を検討したと考えています。

## I 地域創生教育について

地域創生教育については、社会人としての汎用基礎力を備え、グローバルな視野を持って専門性を生かして地域活性化に実践的に関与し、地域ビジョンの作成、地域課題の解決に貢献できるイノベーター人材の育成を目指した教育と考えたいと思います。

## II 「地域創生教育科目」の構成について

1. 大分大学における科目の総称・・・「地域創生教育科目」
2. 地域創生教育科目の構成
  - ①学部専門科目における「地域創生教育に有効な科目」
  - ②教養教育における「大分を創る人材を育成する科目」
    - 「大分を創る科目」（基盤教養科目）
    - 「大分を創るトップアップ科目」（高度化教養科目）

## III 地域創生教育科目に学部専門科目を位置付ける趣旨について

教養教育における「大分を創る人材の育成」という、地域創生人材育成のための基盤の上に、以下の趣旨で学部専門科目を位置付けることが必要と考えています。

1. 学生は学部を卒業して社会人となります。その学部教育において「地域創生を担う人材の育成」を行っているという状況を確認することは、各学部の専門性を持って地域創生に関わるという意味で、学部の意義を広く周知できるというメリットがあります。
2. 地域創生人材を育成する為には、教養教育で学ぶ基礎的な知識や能力、意欲や関心をベースとして、学部で学ぶ専門教育によって、企業や地域社会が求める企業力や地域豊穰化力を育成するための教育が求められます。言い換えれば、汎用力に優れ主体的に物事に取り組める人材、地域・企業における課題解決を積極的に主導できる人材、地域・企業に新しい価値をもたらす人材、革新者として挑戦を恐れない人材、さらに、大きなビジョンや目標の実現にまい進している仲間を支援(=奉仕)するサーバントリーダー人材などの育成が求められます。大学全体としてそうした教育を推進し、「地域を牽引し、時代を切り開く地域リーダー人材（イノベーター）」を輩出していることを社会に対して説明することが求められます。

## IV 地域創生教育科目に位置付けた学部専門科目にお願いすることについて

○今回上記の体制について検討するにあたり、地域創生教育科目に位置付けた学部専門科目について、授業実施後に以下の資料の提出についてご協力をお願いします。

①地域創生教育科目に位置付けた学部専門科目のシラバス

②授業後の学生への効果に関する資料

※レポート、学生が作成した資料、授業に関する写真等の中から地域創生の取組に関する参考となる資料（受講者全員のものである必要はありません。代表的なものだけで結構です。）